

## Literature cited

Dickinson, C.H. & V.H.S. Underhay. 1977. Growth of fungi in cattle dung. Trans. Br. Mycol. Soc. 69: 473-477. Harrower, K.M. & L.A. Nagy. 1979. Effects of nutrients and water stress on growth and sporulation of coprophilous fungi. Trans. Br. Mycol. Soc. 72: 459-462. Hawker, L.E. 1950. Physiology of fungi. 360 p. J. Cramer, Lehre.

\* \* \* \*

鹿糞における菌類の遷移におよぼす相対湿度の影響について調べた。その結果、湿度 35%, 72%, 93%のいずれの条件でも *Mucor mucedo*, *Sordaria humana* は同じような生育のパターンを示した。*Sporormiella minima* は湿度が低くなるにつれて生育が悪くなった。また、*Pilobolus crystallinus*, *Lasiobolus cuniculi*, *Saccobolus* sp. は湿度 35%の時は全く生育してこなかった。菌類の遷移を調べるためには湿度を過飽和の状態にする必要がある。

□Kartesz, J. T. & Kartesz, R.: **A synonymized checklist of the vascular flora of the United States, Canada and Greenland** xlviii+498 pp. 1980. The University of North Carolina Press, Chapel Hill. 昨年 6 月, アメリカ合衆国, カナダ, グリーンランド, 西インド諸島 (プエルトリコ, バージン諸島を含む) をカバーした表記のチェックリストが出版された。このリスト作りは, Biota of North American Program の一環として, 1973年に着手, 主として1900年以降に出版された関係地域の文献を網羅し, コンピューター手法によって整理したのち, 250 名余の植物分類学の専門家によってチェックされて完成した。

植物の配列は, シダ植物・裸子植物・被子植物の順に, 各群内では科・属・種・変種ごとにアルファベット順に並べられ, それぞれ選択された異名が付されている。帰化植物と雑種は含むが, 品種や栽培変種は含まれていない。基本資料として収集された学名は30万余に及んだが, 本の適正サイズやコストを勘案の上, 異名については Manual レベルに止めたという。結局, 変種から属まで 56431 の名がリストアップされている。内訳は次の通りである。

	科	属	種	亜種	変種	雑種	異名
シダ植物	24	108	789	16	175	48	690
裸子植物	6	20	125	0	45	10	98
被子植物	224	2793	20674	2475	7788	682	19641
計	254	2921	21588	2491	8008	740	20429

したがって, 現在使用されている北アメリカの標準的な学名を知り, フロラの規模を知るには大へん便利である。欲をいえば, さらに分布域や自生か野化かなどの短かい記事があったらと思う。わずか数年のうちに編集が完了し, 250 名もの分類学者が動員できるとは羨しい。私が Chapel Hill で求めた価格は29ドルであった。(清水 建美)